２０２５年度一般入学試験（後期日程）
各科目の出題の意図

英　語

（国際教養学科・英語英文学科）

標準的な文法・語彙・語法の知識と、それを駆使して長文を読み解く力を問います。長文読解問題Ⅰでは、内容一致文や同意語句を選択することで、本文を正確に、かつ効率よく読み解く力を問います。長文読解問題Ⅱでは、空所に適する語を選択することで、文法・語彙・語法の知識をもとに、本文の内容をつかむ力を問います。文法・語彙・語法問題Ⅲでは、短文の空所に適する語を選択することで、文法・語彙・語法の知識の定着度を問います。会話長文問題Ⅳでは、空所に適する語を選択することで、会話の自然な流れを理解する力を問います。

（上記以外の学科）

標準的な文法・語彙・語法の知識と、それを駆使して長文を読み解く力を問います。長文読解問題Ⅰでは、内容一致文や同意語句を選択することで、本文を正確に、かつ効率よく読み解く力を問います。長文読解問題Ⅱでは、空所に適する語を選択することで、文法・語彙・語法の知識をもとに、本文の内容をつかむ力を問います。文法・語彙・語法問題Ⅲでは、短文の空所に適する語を選択することで、文法・語彙・語法の知識の定着度を問います。

国　語

語彙力・基礎的な知識事項と文章読解力を問うことで、国語に関する力を総合的に評価することをねらいとします。大問一では、漢字・語句・慣用表現など、文章読解の土台となる語彙力を評価します。大問二の論理的文章では、筆者の主張・論拠・論理展開を本文に基づいて読み取ることができているか、論理的思考力を評価します。大問三（・四）は受験する学科により選択する問題が異なります。古文の場合、古典文法・語彙・古典常識を踏まえつつ、登場人物の心情や行動、物語の主題を正確に読み取る力を評価します。現代文の場合、大問二より短めの文章を二題出題し、さまざまなジャンルについて短時間で正確に読み取り、論理構成や要点を把握する力を評価します。

化　学

化学基礎および化学（高分子を除く）の範囲から、基本的内容を中心にしつつ、後半では思考力を問う問題を出題しています。第１問は小問集合形式で、基礎用語、公式の活用、物質の名称や性質などの基礎的な内容の理解を幅広く問います。第２問～第４問はリード文を設けて一つのテーマで複数の設問を出題する形式で、基礎的な内容に加え、標準レベルの知識、計算力、思考力を問う問題を出題しています。設問数は 25 問程度で、選択肢４～８個から選ぶ方式です。

生　物

生物基礎・生物で学習する基本的な知識事項を土台に、原理・しくみの深い理解や、図・表・実験条件の読み取り、定量的な推定・計算、論理的な判断・表現を総合的に評価します。大問１では、生物基礎の学習項目を中心に、網羅的に理解を問います。大問２～４では、特定の分野のテーマに関する体系的な理解を評価します。知識事項の正確な理解に加え、知識事項や概念を適切に活用する力のほか、情報を抽出し因果関係を把握する力や、複数の情報を組み合わせて論理的に考察する力も評価します。